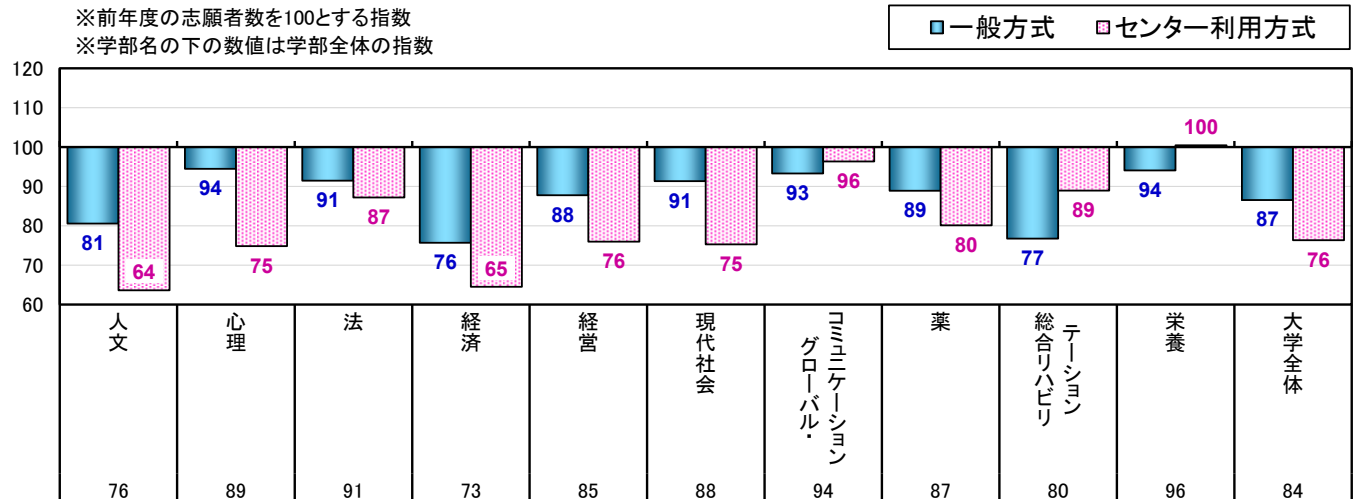


2020 年度入試状況分析【私立大】

神戸学院大：大学全体では 8 年ぶりに減少

一般：-2,708 人 センター：-1,393 人



入試変更点 名称変更：栄養(栄養/生命栄養)→(栄養/臨床検査)
 選抜方法：新規実施…〈後期・調査書併用型〉
 グローバル・コミュニケーション…〈セ・前期、後期〉
 →〈セ・前期A方式、前期B方式、後期A方式、後期B方式〉
 入試科目：栄養(栄養/臨床検査)〈中期〉〈セ・中期〉…個別試験の理が国・数との選択に

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、4,101人(101)の大幅減少で、7学部だった2012年度以来8年ぶりに減少。10学部全てが減少し、経済(73)、人文(76)、総合リハビリテーション(80)、経営(85)は大幅減少。

〈一般方式〉
 ○人気(81)は、大幅減少で4年ぶりに減少。
 ○心理(94)は、やや減少で前年度大幅増加の反動は小さかった。
 ○法(91)は、2年連続大幅増加の反動で減少したが、志願者数は2年連続で2千人を上回った。
 ○経済(76)は、5年連続大幅増加の反動で大幅減少。
 ○経営(88)は、2年連続大幅増加の反動で減少。
 ○現代社会(91)は、2014年度の新設後、5年連続大幅増加していたが、初めて減少。2学科とも減少し、特に(社会防災)(77)は大幅減少。
 ○グローバル・コミュニケーション(95)は、やや減少で3年ぶりに減少。専攻別では、(グローバル・コミュニケーション/中国語)(154)は5年連続大幅増加だが、(グローバル・コミュニケーション/英語)(83)は大幅減少。
 ○薬(89)は、系統への人気低下で5年連続減少となり、志願者数は2015年度から60%以上減少。
 ○総合リハビリテーション(77)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(作業療法)(107)のみ増加。(社会リハビリテーション)(51)は、2年連続激増の反動でほぼ半減。
 ○栄養(94)は、やや減少で2年ぶりに減少。専攻別では、(栄養/生命栄養)から名称変更の(栄養/臨床検査)(123)が大幅増加、(栄養/管理栄養)(80)は大幅減少。

〈センター利用方式〉
 ○人文(64)は、前年度1.9倍増の反動で大幅減少。
 ○心理(75)は、2年連続大幅増加の反動で大幅減少。
 ○法(87)は、前年度大幅増加の反動で減少。
 ○経済(65)は、3年連続増加の反動で大幅減少。
 ○経営(76)は、4年連続増加の反動で大幅減少。
 ○現代社会(75)は、2015年度のセンター試験利用方式導入後、4年連続大幅増加していたが、初めて減少。2学科とも大幅減少で初めて減少。
 ○グローバル・コミュニケーション(96)は、やや減少で2016年度の方式実施後、初めて減少。専攻別では、(グローバル・コミュニケーション/中国語)(154)は4年連続大幅増加だが、(グローバル・コミュニケーション/英語)(93)は初めて減少。
 ○薬(89)は、系統への人気低下に加え、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
 ○総合リハビリテーション(89)は、3年ぶりに減少。学科別では、(理学療法)(109)は5年ぶりに増加したが、(社会リハビリテーション)(56)は2年連続大幅増加の反動で大幅減少。
 ○栄養(100)は、1人増加の前年度並。専攻別では、(栄養/生命栄養)から名称変更の(栄養/臨床検査)(143)が大幅増加、(栄養/管理栄養)(77)は大幅減少。